

# 第三者意見

## 第三者意見



関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科 教授・博士(法学)  
日本経営倫理学会 常任理事  
経営倫理実践研究センター 上席研究員

高野 一彦

### 1. 「タクマCSR報告書2020」の特長

日本を代表するプラントエンジニアリング企業であるタクマグループは、わが国の産業の基盤であり、社会から事業継続を強く求められていると思われる。したがって本報告書の中でも、特に事業の持続可能性(Sustainability)に関する特長に着目して、第三者意見を述べたい。

第一は、社会課題を見据えた経営努力である。例えば、バイオマス発電や廃棄物発電プラントの開発など、温室効果ガス対策・創エネルギーなどの社会課題を本業で解決する努力が行われている。低炭素社会の実現のために企業にも厳しい目が注がれる中、これらの製品は今後も支持され続けることと思う。

第二は、働きやすい制度や社風の醸成に関する記載が充実していることである。報告書では、働き方改革や在宅勤務制度など、従業員が長く働き続けられるための制度に関する記載が充実している。また南條社長が、プラント運営を行う事業所を9カ所訪問された旨が記載されているが、風通しの良い社風づくりのための取り組みと思われる。本報告書は、従業員を大切にすることが、企業の競争力につながるという経営者の思いを垣間見ることができる。

第三は、企業としての「レジリエンス(強靱性)」向上のための取り組みである。昨年の第三者意見では、リスクマネジメント体制は充実しているが、災害の発生を前提とした訓練を定期的に行うことで、さらにBCP(事業継続計画)の実効性を高めることができるのではないかと、指摘をさせていただいた。今年の報告書では、防災訓練や「情報システムの維持・回復」を目的としたBCPトレーニングを実施し、危機管理能力の一層の向上に努めている旨が記載されている。

このように昨年よりもさらに発展している様子を、本報告書からうかがい知ることができて嬉しく思う。

### 2. さらなる発展のために

これからのタクマグループのCSR経営に期待することを以下に挙げたい。

第一は、価値創造プロセスの検討である。「2020年は次期長期ビジョンを作成する年」とのことだが、南條社長のトップメッセージにも示されているように、培ってきたタクマグループの強みを生かした事業活動により、SDGs(持続可能な開発目標)などの社会課題を解決することで、持続可能な未来社会の実現を目指したビジョンの策定を期待している。

第二は、グローバル・コンプライアンス体制のさらなる深化である。本報告書の「事業紹介」において、海外での事業展開が紹介されており、今後も海外事業は発展していくことと思われる。特に贈賄やデータ保護などに関する欧米の法制度は域外適用されることから、海外事業における重要なリスクだと思われる。同社では現時点で高度なコンプライアンスへの取り組みが行われているが、グローバル事業特有のリスクを含めた深化を期待したい。

第三は、レジリエンスのためのさらなる取り組みである。新型コロナウイルスのパンデミックが社会問題になっているが、これを契機にBCP(事業継続計画)の見直しと改善による持続可能性の向上に努められることを期待したい。

タクマグループは質の高いCSR活動を真摯に行っていると思う。今後も本業を通じて社会課題の解決に貢献することで、会社としても益々発展されることを期待している。

## 第三者意見を受けて



取締役 執行役員  
コンプライアンス・CSR推進本部長  
兼 コーポレート・サービス本部長

田中 康二

「CSR報告書2020」の発行にあたりまして、関西大学教授の高野一彦様より貴重なご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。

本書は、タクマグループが社会課題の解決と企業価値の向上を図り、持続的な成長を実現するために取り組んでいるさまざまな活動と企業ビジョン達成に向け進めている当社グループの第12次中期経営計画をステークホルダーの皆さまにご理解いただくため、関係者の声を中心にわかりやすい解説に努めました。

「1.『タクマCSR報告書2020』の特長」では、当社グループも重要と捉えております「事業の持続可能性」の視点から、とても貴重なありがたいお言葉を頂きました。当社グループの持続的な成長を実現するため、引き続き、これらの取り組みを進めてまいります。

また、「2.さらなる発展のために」においては、CSR経営に期待する方策を示していただきました。今後の取り組みの方向性を示していただいたことに感謝申し上げます。「千里の道も一歩から」、当社グループの新しいビジョンの実現をめざすために、一層強靱な事業基盤の構築に努める所存です。

今回、ご指摘いただいた内容を真摯に受けとめ、CSR経営の推進とCSR報告書の充実を図ってまいりますので、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

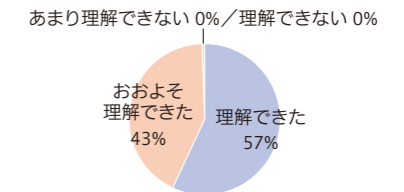
- 編集方針  
「CSR報告書」とし、当社のCSR活動を記載しました。
- 発行者およびお問い合わせ先  
株式会社タクマ  
コンプライアンス・CSR推進本部 CSR部  
TEL(06)6483-2673  
FAX(06)6483-2620

- 対象期間  
原則として2019年4月1日から2020年3月31日までです。一部2020年度の活動内容を含んでいます。
- 対象範囲  
原則として株式会社タクマおよび関係会社を対象としています。
- 発行時期  
今回発行 2020年7月  
次回発行 2021年7月予定  
前回発行 2019年7月

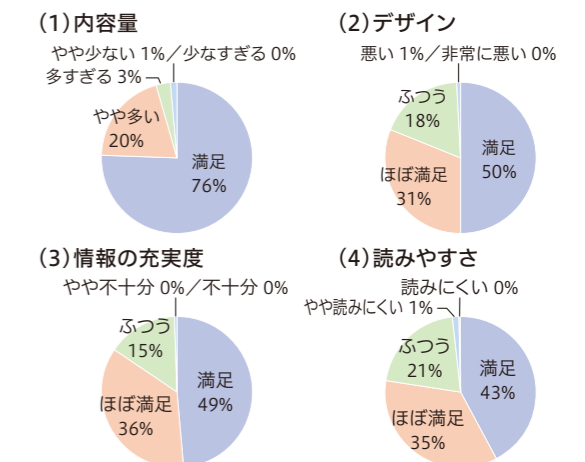
## 「タクマCSR報告書2019」アンケート結果

調査期間:2019年7月~2020年6月  
回答者数:1079名

### Q1 当社の活動についてご理解いただけましたでしょうか。



### Q2 本書に対する満足度はいかがでしょうか。



### Q3 どの項目に興味をもちましたか。(複数回答3つまで)

